

れいわ新選組 わかさとひろの



柏市議会の舞台裏から



市議会レポート VOL.3

強引な進め方！小中一貫校の設置にマッタ！

令和6年度第1回定例会が3月に開催されました。議会の採決日には、柏市議会の歴史上初となる、予算案への「修正動議」を8名の議員が提出しました。内容は、柏中学校の敷地に柏第一小と旭東小を移転・統廃合させ、過大規模の小中一貫校を作り出すという計画に対し、マッタ！をかけるものです。残念ながら修正動議は否決されてしまいましたが、引き続き反対していきます。議会の審議も無しにこの計画は突然公表されました。教育委員会は保護者の意見を聞かず、過大規模校のデメリットの説明もありません。小中一貫校の設置費用は予算全体から見ると一部であるため、予算案に対しては賛成しましたが、この件に関して強く反対する理由を賛成討論でも述べました。白熱した議論が展開された修正動議と、私の賛成討論の動画を右のQRコードからぜひご視聴ください。



動画【修正動議】※日程第2
3:13～林さえこ議員の趣旨説明
14:50～各議員の自由討議



動画【予算案への賛成討論】
会派を代表して：若狭朋広(10分)

柏市の市営住宅の大問題！！



とことん歩いて調べて追及しました。

一般質問では「市営住宅の維持管理」について取り上げました。柏市の市営住宅は12箇所あり、全44棟、832室の管理戸数があります。そのうち空き室は191室あるため、それ以外の**641室に手紙を配布**しました。郵便受けに「チラシお断り」と表示している約2割の世帯には**直接訪問してヒアリング**を行いました。配布後の反応は、相談したいと連絡をいただき面談を行った世帯は12件。私が訪問したことにより対面でヒアリングできた件数は約135件です。対面でのヒアリングを重ね、現地を調べれば調べるほど、多くの課題が見つかりました。



自治会まかせの維持管理は限界です！

街灯・通路灯の交換、草刈り、台所・浴室等の排水管清掃、エレベーターなど建物設備の電気代は、入居者で構成される自治会が徴収する共益費でまかっています。市営北柏B棟は入居者の約6割が75歳以上の後期高齢者です。「高齢化」により、通路灯の交換や草刈りなどが出来なくなったため、業者に依頼しています。そのため**共益費を月2,300円から月3,000円に上げる**ことになってしまいました。共益費の徴収・管理も入居者が当番制で行っています。入居者の約4割がシルバーカーを使って歩いているため、毎月の集金も困難です。共用部分の管理、共益費の徴収・管理も市が行うべきではないでしょうか。

発行：柏市議会議員 若狭朋広

高い位置にある通路灯



脚立を使って交換しています。高齢者が作業することは非常に危険です！逆井第二団地の70歳の女性は、役員のおときは毎回、埼玉に住む息子さんを選んで作業してもらっています。

柏市の市営住宅の大問題 !!

指定管理者のずさんな対応

塚崎団地の 60 代女性は、洗面所の排水溝が詰まった際に、指定管理者へ連絡したところ「何つまらせたんだよ!」と威圧的な態度で言われたとのことでした。それからは不具合があっても怖くて連絡できないので、自分で業者に頼んで自己負担しています。同じような声は他の団地からも複数あがっています。実態の調査と適切な指導を市に求めました。

階段のタイルで骨折



階段のタイルが老朽化により、既に接着面が剥がれており、知らずに踏んでしまった 60 代の女性が滑って転んで、膝の皿を骨折しました。4 年以上経った今もこのままです。指定管理者の月 2 回の巡回は、果たして実施されているのでしょうか?

落ち葉が詰まった U 字溝

落ち葉やゴミが上まで詰まってしまう、雨が降ったら周囲が水浸しで、数日間通行できなくなります。指定管理者に連絡しても「やっておきます」との回答にもかかわらず、2 か月たった今もこの状態です。



木の剪定は誰がやるの?



市営北柏 B 棟の敷地内の木です。写真は既に切られた状態ですが、赤丸で囲んだ部分は木が 1 階のベランダに覆いかぶさるまで伸びていました。指定管理者に連絡したところ「2 年待ったら切る」と伝えられたそうです。市の住宅政策課は「入居者全員から同意をもらってください」との回答です。すぐには対応してくれません。結局、入居者が費用負担し、業者に依頼せざるを得ませんでした。

障がい者の入居には市の職員が立ち会うべき

車椅子向け住宅に昨年 9 月に入居した、障がい者手帳をお持ちの 50 代女性は、脚が不自由で車椅子の生活をしています。お風呂場の手すりも、車椅子からだと届かなくて、一人では入浴できません。入居して初めて部屋の状況を知りました。障がいの種類は個人で違うため、その人に合った住環境であるかどうか、入居前の内覧や、入居日の立ち会いを行うべきです。



太田市長の答弁

高齢化により、共用部分の維持管理が入居者にとって負担になっている状況は認識している。「市営住宅のあり方協議会」で、今後どうするかしっかりと検討する。他自治体でも同じような課題に面しているいろんな対策を検討している。先進自治体なども研究・調査をして、いい結果を出したい。

求められること

共用部分の維持管理と、共益費の徴収・管理を市が行うよう条例を改正すべきです。多くの入居者は、避難はしごの使い方や、安否確認の仕組みなど、防災対策も求めています。そのことも合わせて市長に強く要望しました。今後もしっかりチェックしていきます。ここには書ききれない様々な問題を議会で追及しましたので、ぜひ完全版の動画もご視聴ください!

完全版の動画はコチラ



「歩く困りごとの窓口」としてお気軽にご相談ください!

柏市議会議員 わかさ ともひろ
会派：市民サイド
委員会：総務市民委員会、広報委員会



各種 SNS

プロフィール

わかさとともひろ (50 歳)
小 6・小 4 の娘と暮らす
シングルファザー

1973 年 秋田県生まれ。柏市花野井在住。

税務署、財務省 (旧 大蔵省)、劇団主宰、俳優業、広告代理店の営業マン、森の幼稚園事業、ハウスクリーニング、電気工事 (ひとり親方) など、経験した職業は 19 種類。命や人の優しさ、表現することを大切にしています。



わかさとともひろ事務所

柏市花野井 720-177 TEL: 090-1421-9790
後援会「わかさとともひろの会」の会員募集中です!